

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 材料編5 － (下層路盤)

Vol.9

1. 下層路盤

インターロッキングブロック舗装の下層路盤材料には、現地で容易に入手できる粒状路盤材などを用いて施工するのが望ましいとされています。下層路盤材料の品質規格を表1に示します。

表1 下層路盤材料の品質規格

材料	品質規格値 ※
クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂等	修正 CBR20%以上、塑性指数 PI6 以下 (PI は鉄鋼スラグには適用しない。)

※CBRとは、路床や路盤材料の湿潤時のせん断抵抗性を確認することを目的とし、路床や路盤材料の表面に直径 5.0cm のピストンが 2.5mm または 5.0mm 貫入したときの荷重を、標準荷重に対する百分率で表したものです(JIS A1211 CBR 試験方法に準拠)。

※修正CBRは、路盤材料を最大乾燥密度の 95%に締固めたものに対する CBRであり、舗装の路盤材(上層路盤および下層路盤)の適否判断に用います(JIS A1211 CBR 試験方法に準拠)。

※塑性指数 PI は、土あるいは路盤材料中に含まれる細粒分等が塑性状態にある含水量の大きさをいい、液性限界と塑性限界の含水比の差で表される。この指数は土の分類に使われるほか、路盤材等の品質規格の判定項目にも使われている。

IP=WL-WP で計算する。

ここにIP:塑性指数[%] WL:液性限界[%] WP:塑性限界[%]

- (1) 選択した路盤材料の修正 CBR や塑性指数 PI が下層路盤材料の品質規格を満足しない場合は、補足材やセメントまたは石灰などを添加し、品質規格を満足するようにして活用を図ってください。
- (2) 再生路盤材料も有効利用することを検討してください。その使用に当たっては「舗装再生便覧(日本道路協会)」を参考ください。

以上